

# 令和3年 消防統計

(火災・救急・救助統計について)



宇和島地区広域事務組合消防本部

・・・・・・・・・・はじめに・・・・・・・・・・

この『消防統計』は、令和3年中に宇和島地区管内（宇和島市・松野町・鬼北町）で発生した火災、救急及び救助活動状況を取りまとめたものです。

今後、当消防本部において組織、施設及び装備の充実はもとより、火災予防、救急業務等広範囲にわたり活動していくために、現況の課題を捉えあらゆる角度から分析しました。

この『消防統計』が、広く一般に消防活動に対する認識と理解を深めるための一助となることを願うものです。

令和4年4月

宇和島地区広域事務組合消防本部

## 目 次

### 火 災 統 計

1	令和3年中の火災概況	1
(1)	火災種別概況	1
①	建物火災概況	1
②	林野火災概況	1
③	車両・船舶・その他火災概況	1
(2)	時間帯別火災概況	2
(3)	出火原因別火災概況	2
(4)	初期消火の状況	2
(5)	季別火災概況	2
(6)	火災出動状況	2
2	行政区別火災概況	3
3	月別火災概況	4
4	過去10年間の火災概況	5
5	昭和54年以降の火災件数	6
6	建物用途別火災件数	7
7	時間別火災件数	7
8	風速・湿度別火災件数	8
9	出火原因別火災件数	9
10	初期消火の状況	9
11	火災種別及び損害額	10
12	季別火災件数と損害額	10
13	損害額別火災件数	11
14	死者の発生状況	11
15	負傷者の発生状況	11
16	死傷者数の推移	12
17	放水開始所要時間別火災件数	13
18	鎮火所要時間別火災件数	13
19	火災出動状況	14

## 救 急 統 計

1	令和3年中の救急概要	15
2	令和3年一目統計	15
3	救急出場件数及び搬送人員の推移	16
4	事故種別出場件数・搬送人員	17
5	月別出場件数・搬送人員	17
6	不搬送事案に対する理由内訳	18
7	事故種別ドクターヘリ出場要請件数	18
8	現場到着所要時間別出場件数	19
9	医療機関等収容所要時間別搬送人員	19
10	覚知別出場件数	20
11	曜日別出場件数	20
12	時間別出場件数	20
13	傷病程度別搬送人員	21
14	年齢別搬送人員	21
15	発生場所別搬送人員	22
16	年齢・男女別搬送人員	22
17	救急隊によるAED(電気ショック)実施数及び傷病者予後の推移	22
18	一般住民による応急手当の推移	23
19	普通救命講習受講者の推移	23
20	救急隊員が行った応急処置	24

## 救 助 統 計

1	令和3年中の救助概況	25
2	事故種別救助出動件数・活動件数	25
3	事故種別救助人員・搬送人員	26
4	所属別救助出動件数	27
5	月別出動件数	28
6	傷病程度別救助人員	28
7	過去10年間の救助出動件数等の推移	29

# 火災統計

## 1 令和3年中の火災概況

令和3年中に宇和島地区管内で発生した火災件数は31件で、前年の32件に比べ、1件の減少となっている。また、月平均出火件数については2件を超え、およそ2週間に1件の割合で火災が発生したことになる。

火災における損害額は4,670万6千円で、前年の7,243万円から減少し、火災1件の平均損害額は150万7千円となっている。

市町別火災発生状況は、宇和島市22件（前年比－2件）、松野町2件（前年比＋1件）、鬼北町7件（前年比±0件）となっている。

火災による死傷者の発生については、負傷者は5人（前年比＋2人）となっており、死者は昭和54年以降で過去2番目に多い6人（前年比＋6人）となっている。

### (1) 火災種別概況

#### ① 建物火災概況

建物火災の出火件数は18件（前年比＋5件）で、出火件数全体の58.06%（前年比＋17.43ポイント）となり、非常に高い比率を占めている。

建物火災の損害額は、4,669万8千円（前年比－2,446万1千円）で、1件当たりの損害額は259万4千円となっている。

焼損棟数は37棟（前年比＋11棟）、焼損床面積は1,056㎡（前年比－698㎡）となっている。

建物用途別火災件数では、建物火災18件のうち、併用住宅を含む住宅での火災が11件で、建物火災の61.11%を占めている。住宅以外では、店舗2件、別荘1件、作業所1件、倉庫1件（以下「建物用途別火災件数」参照）となっている。

り災状況については、り災世帯22世帯（前年比＋14世帯）、り災人員45人（前年比＋27人）となっている。

#### ② 林野火災概況

林野火災の出火件数は1件（前年比－2件）で、全体の3.23%を占めている。また、損害額は0円（前年比±0円）、焼失面積0a（前年比－13a）となっている。

#### ③ 車両・船舶・その他火災概況

車両火災の出火件数は0件（前年比－2件）、船舶火災の出火件数は0件（前年比－1件）となっている。

その他火災の出火件数は12件（前年比－1件）で、全体の38.71%を占めている。また、その他火災の損害額は、8千円（前年比－81万1千円）となっている。

## (2) 時間帯別火災概況

時間帯別火災件数については、夜火災に比べて昼火災の比率が高く、昼火災においては、特に14時00分から16時59分の間に9件の火災が発生している。

昼火災（6時00分～17時59分）	……	20件
夜火災（18時00分～5時59分）	……	10件
不明	……	1件
※うち深夜火災（22時00分～4時59分）	……	6件

## (3) 出火原因別火災概況

出火原因については、たき火が8件で最も多く、たばこ及び放火が各3件、（以下「出火原因別火災件数」参照）の順となっている。

## (4) 初期消火の状況

初期消火の状況については、初期消火が実施されたのは23件で、そのうち9件が初期消火に成功し、火災鎮圧に効果があった。また、使用された初期消火器具等をみると、水道・浴槽・汲み置き等の水をかけたが9件と多くなっている。なお、初期消火の成功率をみると、粉末消火器の成功率は50%となっている。

## (5) 季別火災概況

季別火災件数については、春3件（前年比－6件）、夏3件（前年比－6件）、秋8件（前年比＋4件）、冬17件（前年比＋7件）となっている。

季別火災損害額は、冬が最も多く3,124万2千円で、全体の66.89%を占めている。

## (6) 火災出動状況

区分	出動回数	出動ポンプ	出動人員
消防署	24件（±0件）	50台（±0台）	254人（+23人）
消防団	23件（±0件）	124台（-62台）	1,165人（-646人）
合計	47件（±0件）	174台（-62台）	1,419人（-623人）

※（ ）内は、前年比。

## 2 行政区別火災概況

種別		市町別	宇和島市	松野町	鬼北町	令和3年 管内全域	令和2年 管内全域	前年比増減
内 訳	出火件数	件	22	2	7	31	32	△ 1
	建物	件	15		3	18	13	5
	林野		1			1	3	△ 2
	車両						2	△ 2
	船舶						1	△ 1
	その他		6	2	4	12	13	△ 1
損害額	千円	41,827	6	4,873	46,706	72,430	△ 25,724	
内 訳	建物	千円	41,825		4,873	46,698	71,159	△ 24,461
	林野							
	車両						46	△ 46
	船舶						406	△ 406
	その他		2	6		8	819	△ 811
焼損棟数	棟	31		6	37	26	11	
内 訳	全焼	棟	6		2	8	12	△ 4
	半焼		4		2	6	1	5
	部分焼		15		1	16	6	10
	ぼや		6		1	7	7	
り災世帯	世帯	20		2	22	8	14	
内 訳	全損	世帯	4			4	3	1
	半損		3		2	5	1	4
	小損		13			13	4	9
り災人員	人	41		4	45	18	27	
内 訳	全損	人	9			9	8	1
	半損		3		4	7	1	6
	小損		29			29	9	20
建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	836		220	1,056	1,754	△ 698	
建物焼損表面積	m <sup>2</sup>	90		1	91	84	7	
林野焼失面積	a					13	△ 13	
死者	人	5	1		6		6	
負傷者	人	5			5	3	2	
月平均出火件数	件	1.83	0.17	0.58	2.58	2.67	△ 0.09	
月平均損害額	千円	3,486	1	406	3,892	6,036	△ 2,144	
1件平均損害額	円	1,901	3	696	1,507	2,263	△ 756	
住民1人当損害額	円	585	2	500	550	834	△ 284	
出火率(1万人)	件	3.08	5.34	7.19	3.65	3.69	△ 0.04	

※ △は減少、小数点以下四捨五入。(ただし、月平均出火件数及び出火率は除く。)

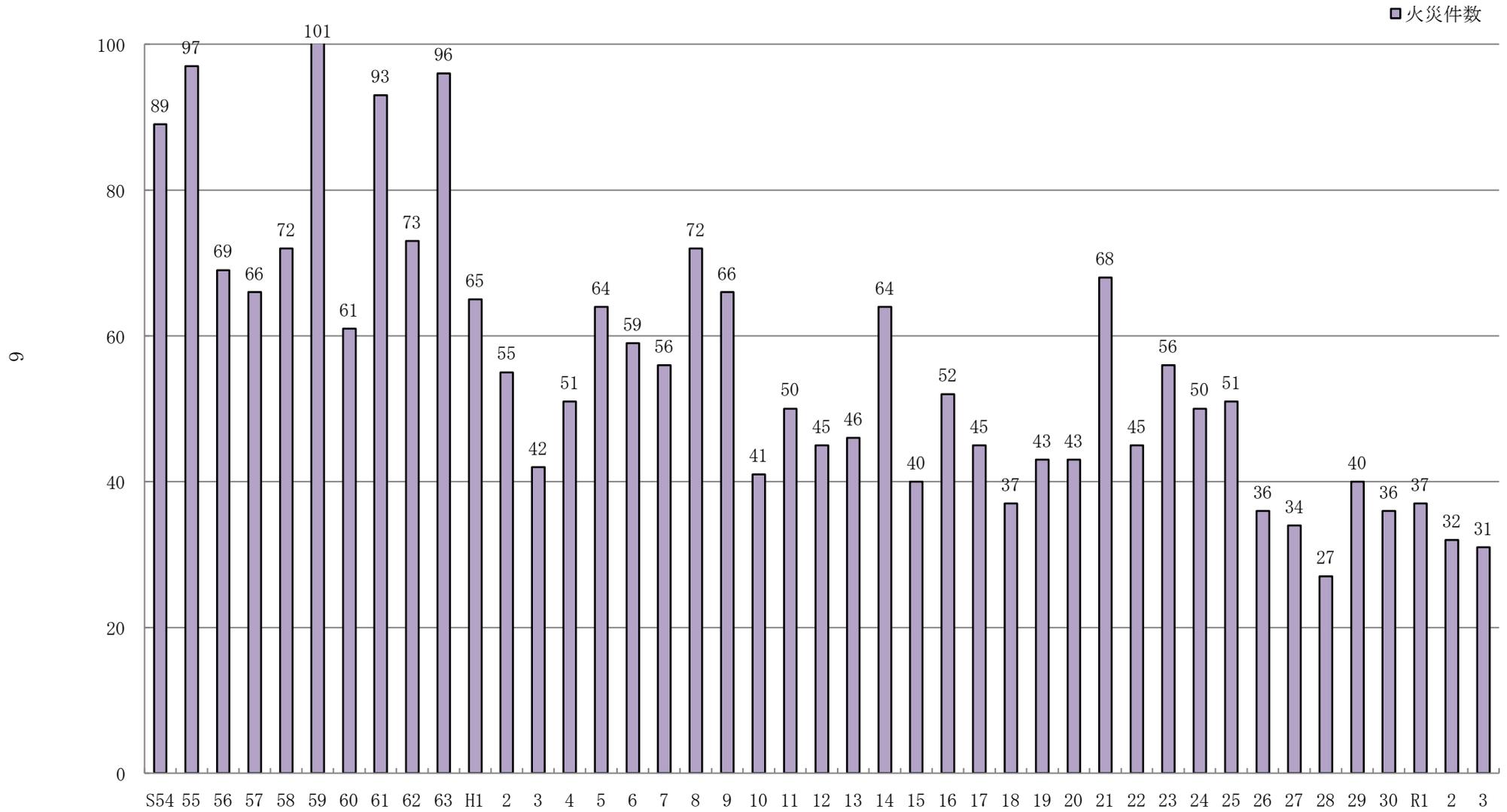
### 3 月別火災概況

区分 月別	建物火災										林野火災			車両・船舶		その他		死傷者		合計	
	件数	棟数				り災世帯数 世帯	り災人員数 人	焼損床面積 ㎡	焼損表面積 ㎡	損害額 千円	件数	焼失面積 a	損害額 千円	件数	損害額 千円	件数	損害額 千円	死者	負傷者	件数	損害額 千円
		全焼	半焼	部分焼	ぼや																
1月	5	5	1	6	2	6	12	535	50	14,635					1	5	2	1	6	14,640	
2月	4	1	1	5	2	9	18	189	38	13,469					1		2	2	5	13,469	
3月														1					1		
4月	1			1		1	1	8		84									1	84	
5月	1			1				2		293									1	293	
6月														1	1	1			1	1	
7月																					
8月	1		1					23		10,935					1				2	10,935	
9月	1			1				14		1,511					1				2	1,511	
10月	1		2		1	3	6	60		2,495	1				3	2		2	5	2,497	
11月	1			1		1	6	9		143									1	143	
12月	3	2	1	1	2	2	2	216	3	3,133					3		1		6	3,133	
合計	18	8	6	16	7	22	45	1,056	91	46,698	1				12	8	6	5	31	46,706	
前年	13	12	1	6	7	8	18	1,754	84	71,159	3	13		3	452	13	819	3	32	72,430	

#### 4 過去10年間の火災概況

年 別	区 分	建 物 火 災				林 野 火 災			車 両 ・ 船 舶 そ の 他 火 災		死 傷 者		合 計	
		件 数	棟 数	焼 損 面 積	損 害 額	件 数	焼 失 面 積	損 害 額	件 数	損 害 額	死 者	負 傷 者	件 数	損 害 額
				m <sup>2</sup>	千 円		a	千 円		千 円				千 円
平成24年		34	57	3,576	135,766				16	2,857	4	11	50	138,623
平成25年		27	40	1,531	55,291	3	5	4	21	1,088	3	16	51	56,383
平成26年		24	37	1,647	48,526	3	73	256	9	4,444	4	11	36	53,226
平成27年		21	34	1,220	46,849	2	5		11	1,220	1	3	34	48,069
平成28年		19	28	1,140	44,991				8	281		9	27	45,272
平成29年		20	35	1,790	67,440	6	31		14	6,410	3	8	40	73,850
平成30年		15	22	727	25,688	2	2		19	161	1	1	36	25,849
令和元年 (平成31年)		20	35	1,730	60,274	3	79	590	14	975	4	12	37	61,839
令和2年		13	26	1,754	71,159	3	13		16	1,271		3	32	72,430
令和3年		18	37	1,056	46,698	1			12	8	6	5	31	46,706

## 5 昭和54年以降の火災件数



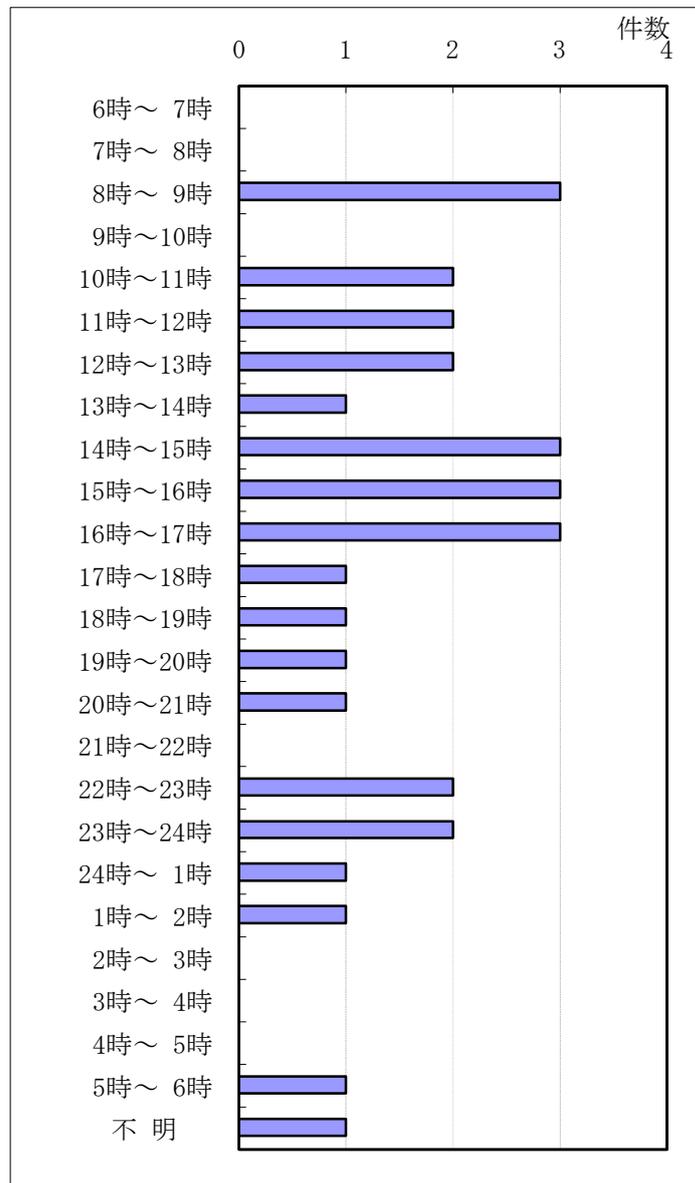
## 6 建物用途別火災件数

区分		月別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
住宅	一般住宅	3	2								1	1	1	8
	長屋住宅												1	1
	作業所併用住宅												1	1
	倉庫併用住宅				1									1
店舗			1							1			2	
作業所									1				1	
倉庫		1											1	
別荘		1											1	
車庫						1							1	
寺院			1										1	
合計		5	4		1	1			1	1	1	1	3	18

※住宅火災(火元住宅)における住宅用火災警報器の設置状況：11件中、1件設置あり（設置率：9.09%）

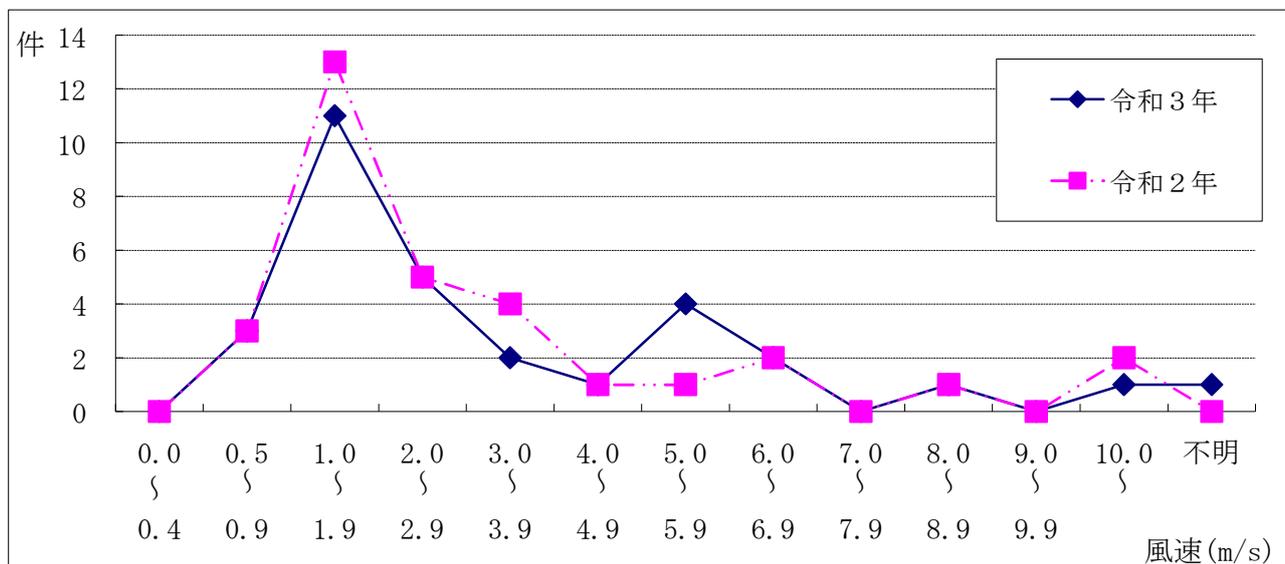
## 7 時間別火災件数

区分	発生時間	件数	
昼間	6時～7時		
	7時～8時		
	8時～9時	3	
	9時～10時		
	10時～11時	2	
	11時～12時	2	
	12時～13時	2	
	13時～14時	1	
	14時～15時	3	
	15時～16時	3	
	16時～17時	3	
	17時～18時	1	
	夜間	18時～19時	1
19時～20時		1	
20時～21時		1	
21時～22時			
深夜	22時～23時	2	
	23時～24時	2	
	24時～1時	1	
	夜間	1時～2時	1
		2時～3時	
		3時～4時	
6件	4時～5時		
	5時～6時	1	
	不明	1	
合計		31	

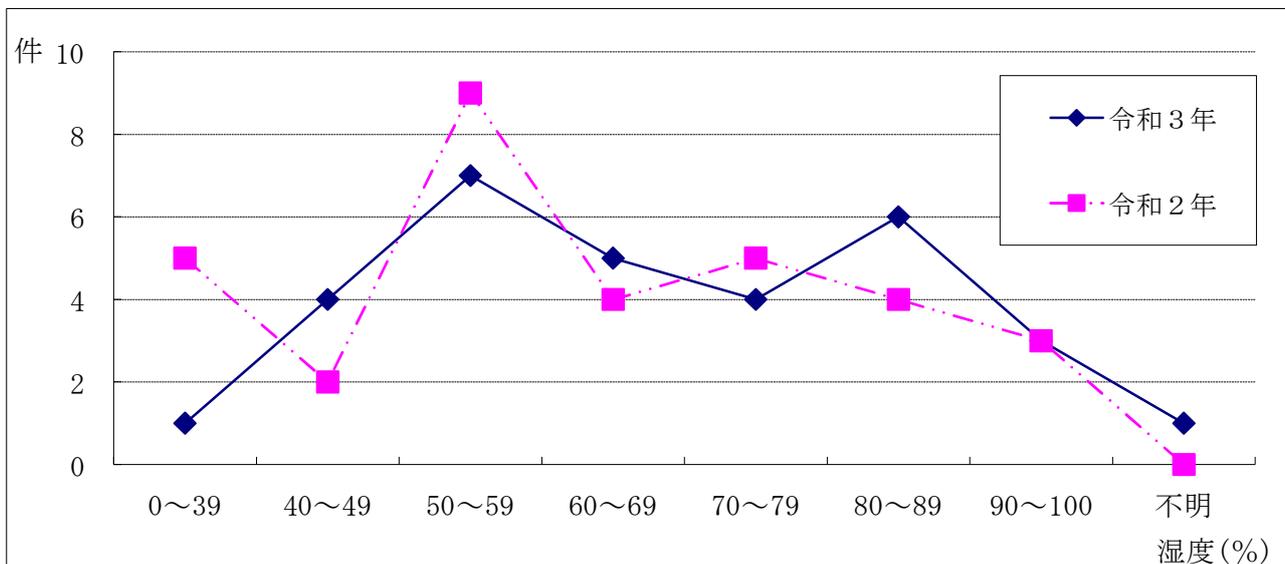


## 8 風速・湿度別火災件数

風速 (m/s)	0.0 ∩ 0.4	0.5 ∩ 0.9	1.0 ∩ 1.9	2.0 ∩ 2.9	3.0 ∩ 3.9	4.0 ∩ 4.9	5.0 ∩ 5.9	6.0 ∩ 6.9	7.0 ∩ 7.9	8.0 ∩ 8.9	9.0 ∩ 9.9	10.0 ∩	不明
令和3年		3	11	5	2	1	4	2		1		1	1
令和2年		3	13	5	4	1	1	2		1		2	

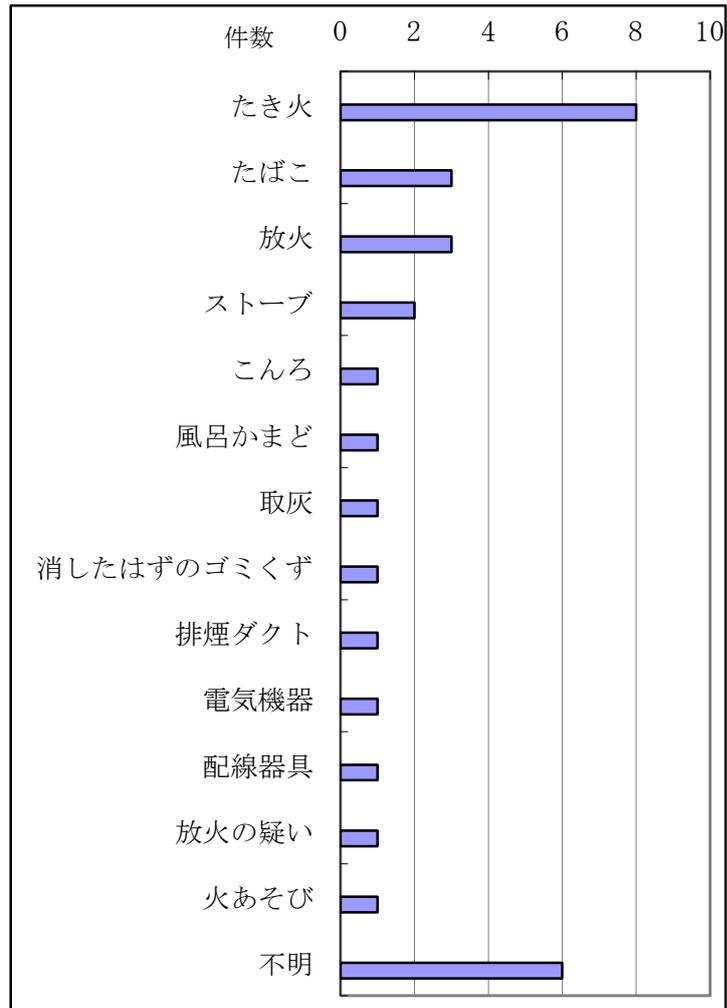


湿度 (%)	0~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90~100	不明
令和3年	1	4	7	5	4	6	3	1
令和2年	5	2	9	4	5	4	3	



## 9 出火原因別火災件数

出火原因	件数
たき火	8
たばこ	3
放火	3
ストーブ	2
こんろ	1
風呂かまど	1
取灰	1
消したはずのゴミくず	1
排煙ダクト	1
電気機器	1
配線器具	1
放火の疑い	1
火あそび	1
不明	6
合計	31

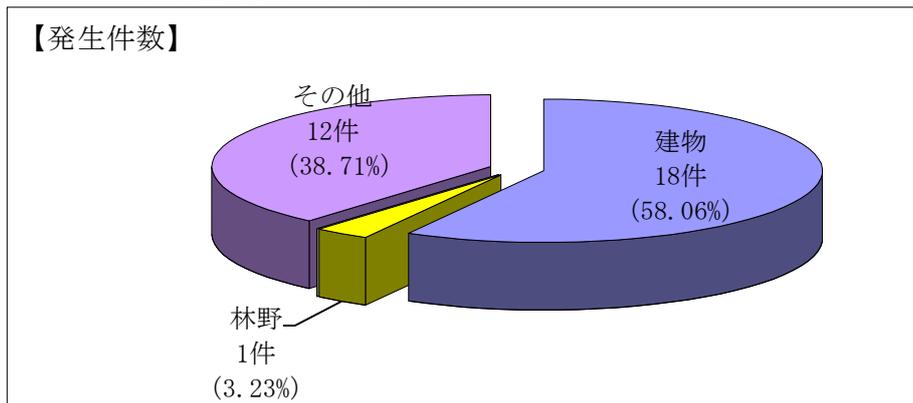


## 10 初期消火の状況

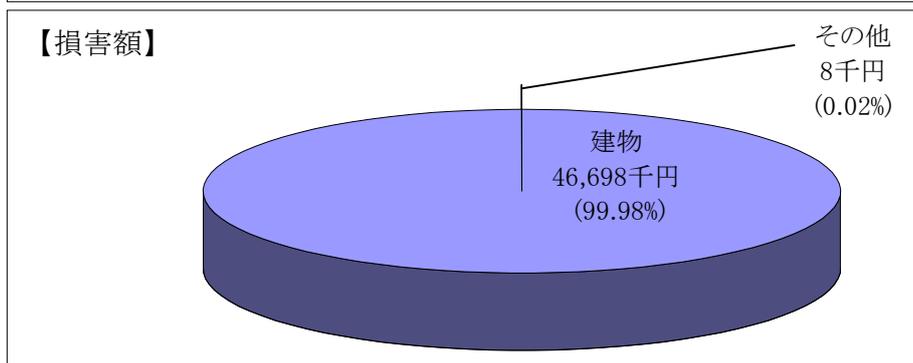
火災件数	31
初期消火実施	23 (74.19%)
初期消火なし	8 (25.81%)

初期消火使用器具等	実施件数 (成功件数)	実施比率 (成功率)
水道・浴槽・汲み置き等の水をかけた	9 ( 5 )	39.13 % ( 55.56 % )
粉末消火器	4 ( 2 )	17.39 % ( 50.00 % )
その他	10 ( 2 )	43.48 % ( 20.00 % )
合計	23 ( 9 )	

## 11 火災種別及び損害額

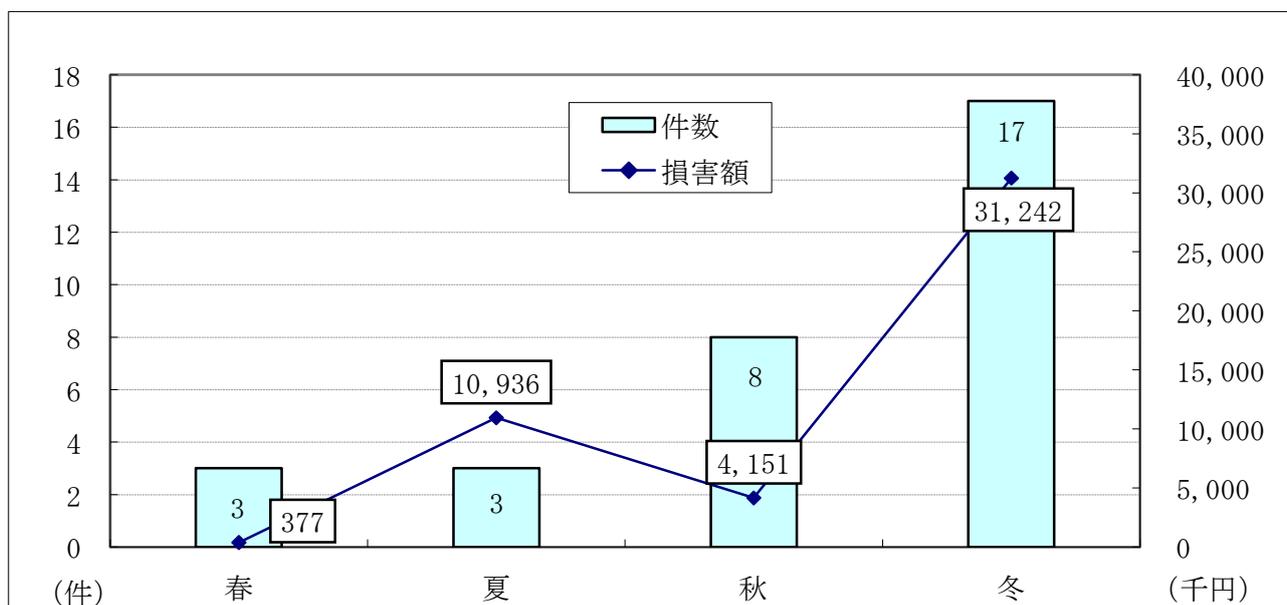


種別	件数
建物	18
林野	1
車両	
船舶	
その他	12
合計	31



種別	金額(千円)
建物	46,698
林野	
車両	
船舶	
その他	8
合計	46,706

## 12 季別火災件数と損害額



区分 季別(月)	出火件数 (件)	構成比 (%)	損害額 (千円)	構成比 (%)
春 (3月～5月)	3	9.68	377	0.81
夏 (6月～8月)	3	9.68	10,936	23.41
秋 (9月～11月)	8	25.81	4,151	8.89
冬 (12月～2月)	17	54.84	31,242	66.89
合計	31		46,706	

### 13 損害額別火災件数

損害額	区分	件数内訳		損害内訳	
		件数	構成比(%)	損害額(千円)	構成比(%)
～ 1万円 未満		14	45.16	9	0.02
1万円以上～ 10万円 未満		4	12.90	220	0.47
10万円以上～ 50万円 未満		3	9.68	815	1.74
50万円以上～ 100万円 未満		1	3.23	770	1.65
100万円以上～ 500万円 未満		6	19.35	13,392	28.67
500万円以上～1,000万円 未満		1	3.23	8,480	18.16
1,000万円以上～		2	6.45	23,020	49.29
合 計		31		46,706	

### 14 死者の発生状況

出火月	出火時刻	火元用途	建築物構造	階	年齢	性別	区分	死因
1月	5:30	一般住宅	木造	2階	61	男	一般人	火傷
1月	5:30	一般住宅	木造	2階	60	女	一般人	火傷
2月	8:00	一般住宅	木造	2階	85	女	一般人	火傷
2月	8:00	一般住宅	木造	2階	61	女	一般人	CO中毒
6月	不明	その他			24	男	一般人	火傷
12月	20:35	長屋住宅	木造	1階	85	男	一般人	火傷

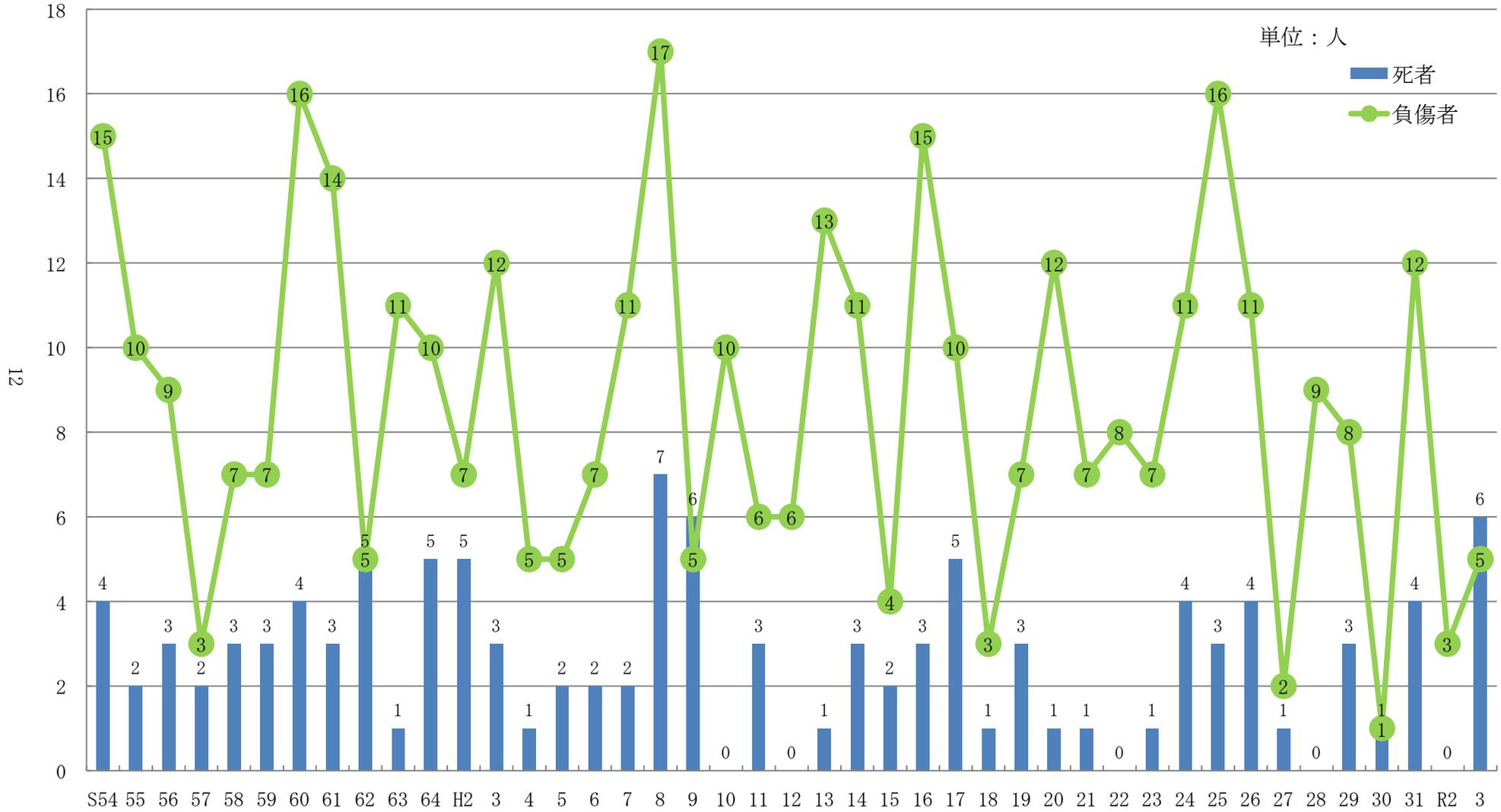
※ 階とは、死者の発生した階である。

※ 区分とは、消防職員、消防団員、一般人をいう。

### 15 負傷者の発生状況

出火月	出火時刻	火元用途	種別	傷病程度	年齢	性別	区分	受傷状況
1月	5:30	一般住宅	木造	中等症	29	女	一般人	その他
2月	8:00	一般住宅	木造	軽症	23	男	消防職員	消火中
2月	8:00	一般住宅	木造	軽症	47	男	消防団員	消火中
10月	16:50	その他		軽症	44	男	一般人	消火中
10月	12:45	その他		重症	40	男	一般人	その他

## 16 死傷者数の推移



## 17 放水開始所要時間別火災件数

火災種別	所要時間		覚知から放水開始までに要した時間					合計(件)	平均所要時間(分)
	放水なし	うち事後聞知	5分以内	5分超え10分以内	10分超え15分以内	15分超え20分以内	20分超え		
建物	7	3	1	4	6			18	10.73
林野					1			1	12.00
車両									
船舶									
その他	4	3		2	2	2	2	12	19.38
合計	11	6	1	6	9	2	2	31	14.25

## 18 鎮火所要時間別火災件数

火災種別	事後聞知	覚知から鎮火までに要した時間									合計(件)	平均所要時間(分)
		5分以内	5分超え10分以内	10分超え20分以内	20分超え30分未満	30分超え40分以内	40分超え50分以内	50分超え60分以内	60分超え90分以内	90分超え		
建物	3		1	1	3	1			2	7	18	104.73
林野								1			1	57.00
車両												
船舶												
その他	3			2	1	1	1	1	1	2	12	57.22
合計	6		1	3	4	2	1	2	3	9	31	85.72

※ 鎮火とは、現場の最高指揮者が再燃のおそれがないと認定した時刻をいう。

## 19 火災出動状況

区分 月別	出動回数		出動ポンプ数						出動人員							
	消防署	消防団	建物火災			その他の火災			合計	建物火災			その他の火災			合計
			消防署	消防団	小計	消防署	消防団	小計		消防署	消防団	小計	消防署	消防団	小計	
1月	5	4	7	21	28	1	9	10	38	46	351	397	7	65	72	469
2月	3	3	6	11	17	2	3	5	22	38	78	116	6	23	29	145
3月	1	1				2	8	10	10				17	65	82	82
4月	1	1	2	3	5				5	6	51	57				57
5月	1	1	2	10	12				12	5	93	98				98
6月																
7月																
8月	2	2	2	4	6	2	8	10	16	8	39	47	9	45	54	101
9月	2	2	2	5	7	1		1	8	13	53	66	5		5	71
10月	4	4	3	11	14	6	9	15	29	11	67	78	26	74	100	178
11月	1	1	4	5	9				9	22	32	54				54
12月	4	4	4	13	17	4	4	8	25	25	82	107	10	47	57	164
合計	24	23	32	83	115	18	41	59	174	174	846	1,020	80	319	399	1,419

※ その他の火災とは、林野・車両・船舶・その他火災をいう。

# 救急統計

## 1 令和3年中の救急概要

令和3年中における出場件数は4,548件（前年比+185件）、搬送人員が4,108人（前年比+135人）となっている。

救急出場件数が増加した要因として、令和2年中は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、住民の外出自粛や病院の受診控えなどにより、出場件数は減少傾向であったが、令和3年に入り、ワクチン接種が進むと共に新しい生活様式を取り入れることで、徐々に日常を取り戻しはじめたことも増加要因のひとつであると推測される。

年齢別搬送人員では、65歳以上の高齢者の搬送割合が全体の7割以上を占め、その中でも80歳～89歳の搬送人員が最も多い。このことは、管内人口にしめる高齢者の割合に比例しているものと考えられる。

令和3年中の普通救命講習受講者数は、前年と比較し僅かながらの増加が認められる。これは、新型コロナウイルス感染症拡大の中、多くの住民からの応急手当指導の希望を受け、感染防御及び受講者数を制限するなどの対策を講じた中で講習会の開催を実施したためである。

心肺停止傷病者数に対する応急手当実施率は、前年と比較し僅かながらの増加が認められる。これは、一般市民の応急手当の意識向上と同時に、通信指令員による口頭指導の実施も実施率向上の要因と考えられる。

## 2 令和3年一目統計

項目別		年別		増 減
		令和2年	令和3年	
管内全人口[A]		86,796 人	84,936 人	△ 1,860 人
出場件数		4,363 件	4,548 件	185 件
搬送人員[B]		3,973 人	4,108 人	135 人
不搬送件数 ※2		317 件	352 件	35 件
管内全人口と搬送人員の比率[B]÷[A]		4.6 %	4.8 %	0.2 %
1日の平均出場件数		12.0 件	12.5 件	0.5 件
1日の平均搬送人員		10.9 人	11.3 人	0.4 人
ドクターヘリ出場要請件数		7 件	21 件	14 件
救急出場した心肺停止傷病者数[C]		154 人	119 人	△ 35 人
[C]に対する一般住民による応急手当実施率		62 %	66 %	4 %
最 多 記 録	月別出場件数	1月 446 件	12月 458 件	12 件
	曜日別出場件数	月曜日 679 件	月曜日 701 件	22 件
	1日の出場件数	33 件	25 件	△ 8 件
	時間別出場件数	10時～12時 608 件	10時～12時 628 件	20 件
	事故種別出場件数	急病 2,808 件	急病 3,065 件	257 件
	年齢別搬送人員	80～89歳 1,256 人	80～89歳 1,287 人	31 人

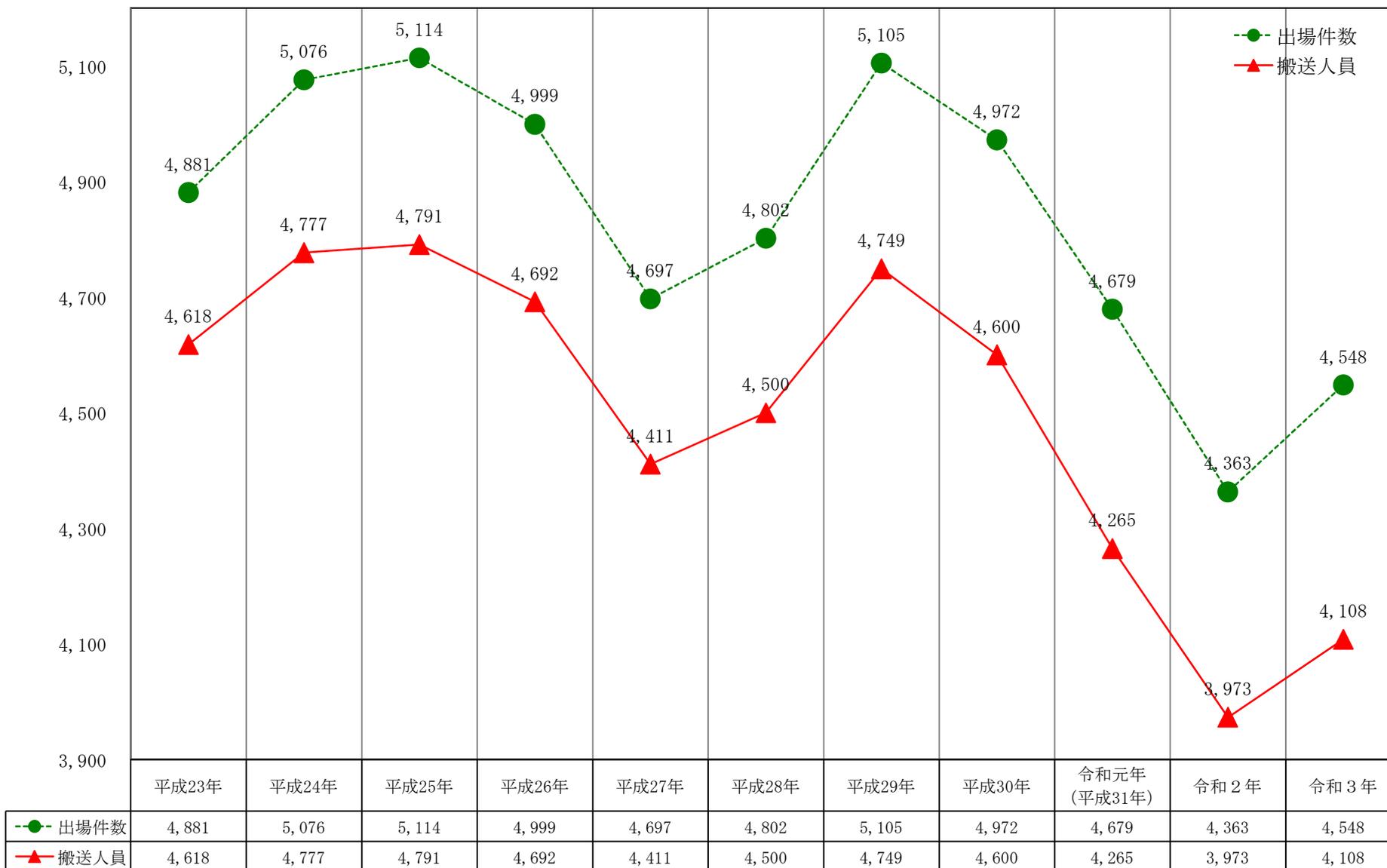
※1 △は減少

※2 不搬送件数については、社会死（救急隊接触時、明らかに死亡していると判断される状態）による件数を除いたもの。

### 3 救急出場件数及び搬送人員の推移

(件・人)

16



#### 4 事故種別出場件数・搬送人員

事故種別	所属		宇和島消防署		吉田分署		津島分署		鬼北消防署		合計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
火災	3	2					1	1	1		5	3
自然災害												
水難	4	2	1	1					1	1	6	4
交通	158	137	8	4	23	19	28	24	28	24	217	184
労働災害	26	26	7	8	4	3	4	3	6	6	43	43
運動競技	11	11							1	1	12	12
一般負傷	435	383	67	61	106	101	128	123	128	123	736	668
加害	7	6	1	1							8	7
自損行為	5	1	5	4	1	1	1	1	1	1	12	6
急病	1,937	1,730	272	255	355	324	501	443	501	443	3,065	2,752
転院搬送	306	302	36	36	43	43	48	48	48	48	433	429
その他	10								1		11	
合計	2,902	2,600	397	370	533	492	716	646	716	646	4,548	4,108

#### 5 月別出場件数・搬送人員

月別	所属		宇和島消防署		吉田分署		津島分署		鬼北消防署		合計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
1月	267	238	34	33	47	45	71	65	71	65	419	381
2月	212	190	31	31	49	47	62	50	62	50	354	318
3月	214	180	36	33	46	38	60	53	60	53	356	304
4月	234	205	43	41	50	44	53	49	53	49	380	339
5月	191	177	24	23	27	23	53	52	53	52	295	275
6月	200	184	25	22	36	32	42	37	42	37	303	275
7月	251	234	29	25	46	43	75	65	75	65	401	367
8月	275	237	33	31	59	57	60	55	60	55	427	380
9月	238	221	29	25	34	34	56	52	56	52	357	332
10月	247	225	33	29	35	31	48	43	48	43	363	328
11月	289	254	43	42	42	40	61	57	61	57	435	393
12月	284	255	37	35	62	58	75	68	75	68	458	416
合計	2,902	2,600	397	370	533	492	716	646	716	646	4,548	4,108

## 6 不搬送事案に対する理由内訳

	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
緊急性なし	176	142	43	23
傷病者なし	28	32	14	21
拒否	83	93	55	19
酌量	9	3	8	2
現場処置	1	7	200	217
誤報・いたずら	2	4	2	14
その他	13	25	17	21
合計	312	306	339	317

	令和 3年
辞退（到着前）	13
辞退（到着後）	231
拒否	43
他車（隊）搬送	16
傷病者なし	41
誤報・いたずら	3
その他	5
合計	352

※ 不搬送件数については、社会死（救急隊接触時、明らかに死亡していると判断される状態）による件数を除いたもの。

※ 令和3年より、救急年報報告要領の指針に沿わせたことにより、入力項目の数値に大きな変動が生じたもの。

## 7 事故種別ドクターヘリ出場要請件数

事故種別	年別	平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年
急病		1	3	1	1	4
一般負傷		1	1	1	2	3
交通		1			1	1
転院搬送			4	2	1	8
その他			2	3	2	5
合計		3	10	7	7	21

## 8 現場到着所要時間別出場件数

事故種別	所要時間	覚知から現場到着までに要した時間					合計	平均所要時間(分)
		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
急病		23	87	1,556	1,179	220	3,065	10.60
交通		2	8	130	68	9	217	9.40
一般負傷		5	25	394	248	64	736	10.70
その他		3	58	355	93	21	530	8.00
合計		33	178	2,435	1,588	314	4,548	9.70

※ 現場到着最短時間：1分 最長時間：77分

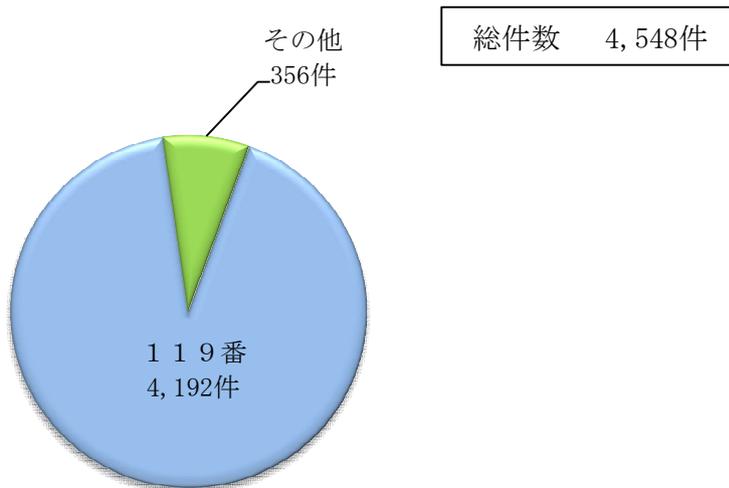
## 9 医療機関等收容所要時間別搬送人員

事故種別	所要時間	覚知から医療機関到着までに要した時間						合計	平均所要時間(分)
		10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上		
急病			24	555	1,943	221	9	2,752	39.70
交通			1	50	124	9		184	38.00
一般負傷			6	116	465	77	4	668	42.50
その他			53	188	196	59	8	504	38.30
合計			84	909	2,728	366	21	4,108	39.60

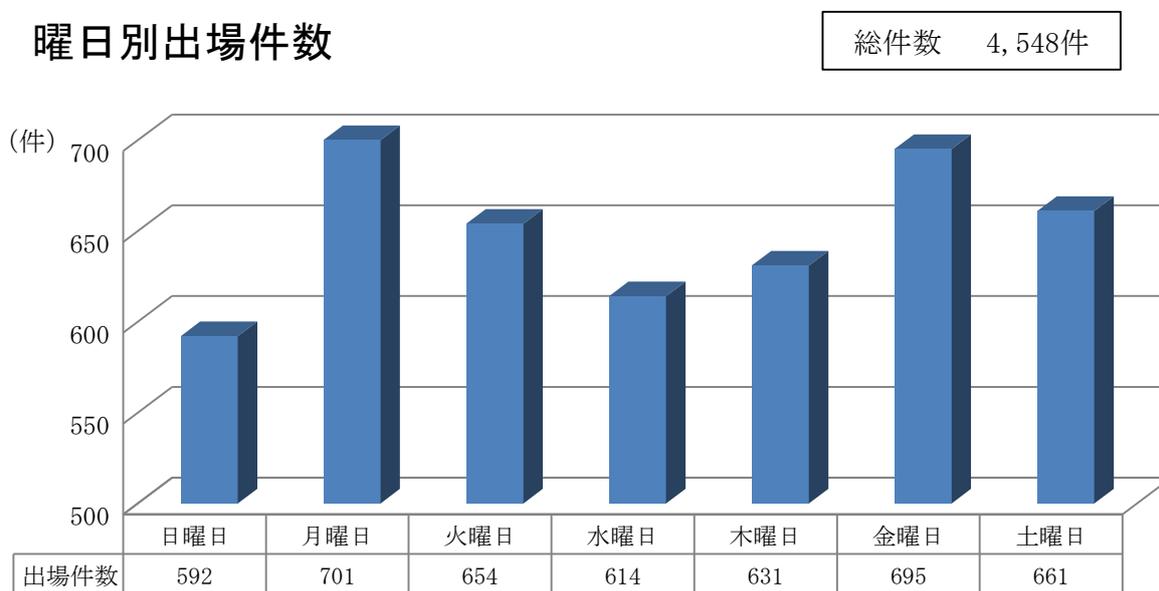
※ 上記のデータは、管轄外搬送も含む。

※ 管轄内医療機関への搬送最短時間：14分 最長時間：187分

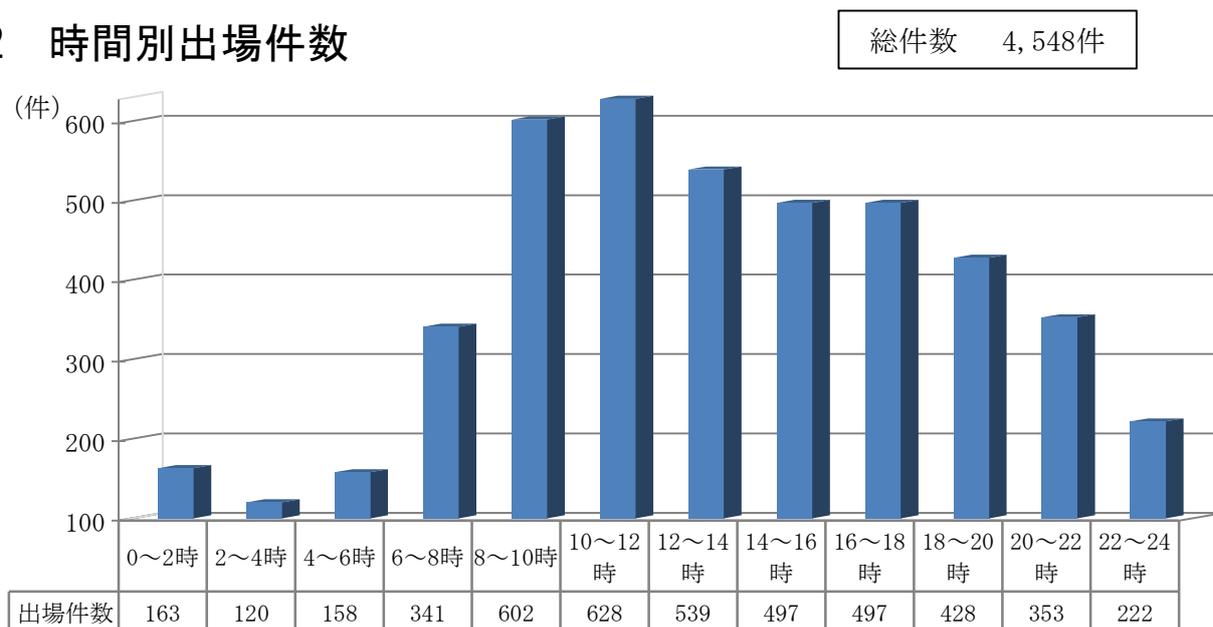
## 10 覚知別出場件数



## 11 曜日別出場件数

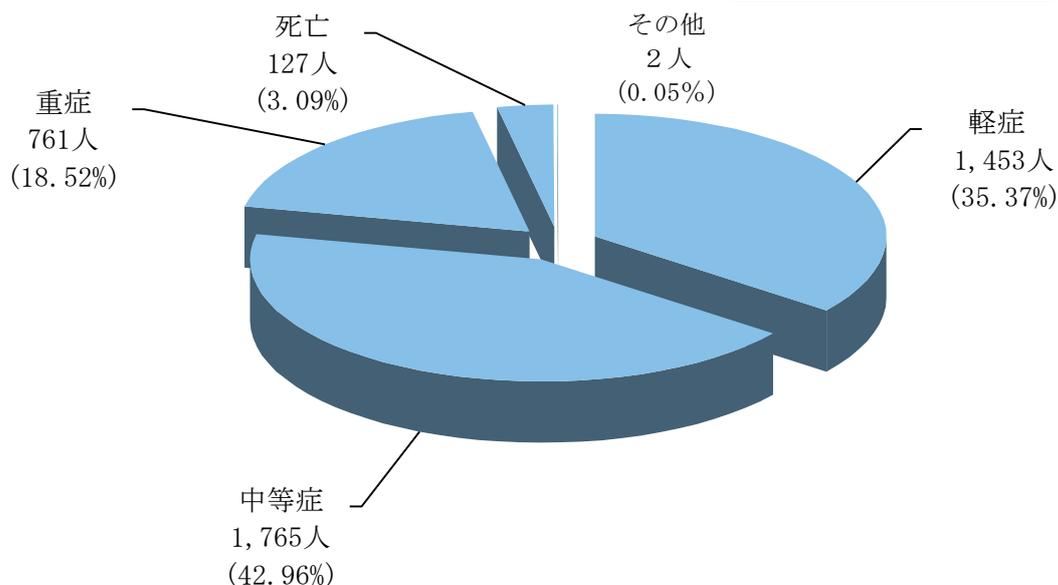


## 12 時間別出場件数



### 13 傷病程度別搬送人員

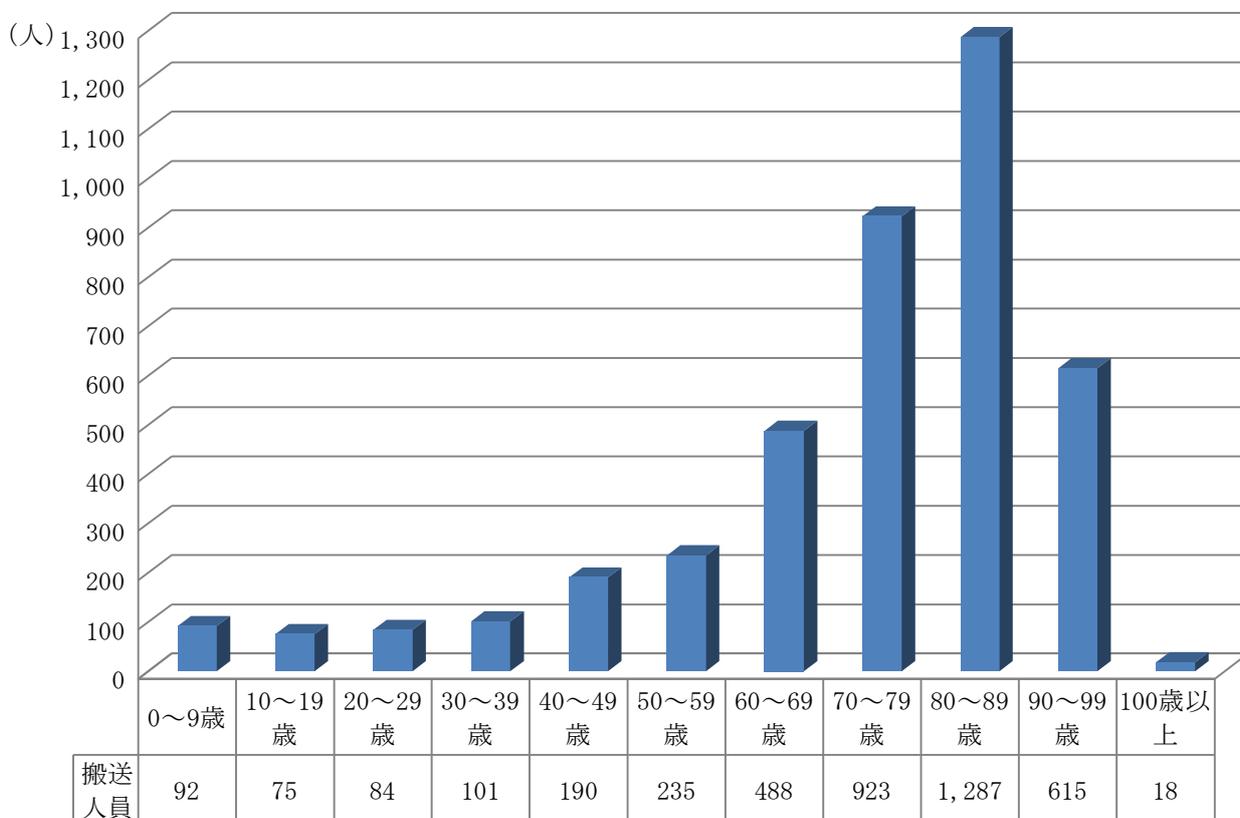
総搬送人員 4,108人



- ※ 死 亡・・・初診時において、死亡が確認されたもの。
- 重 症・・・傷病の程度が、3週間以上の入院加療を必要とするもの。
- 中等症・・・傷病の程度が、入院を必要とするもので重症にいたらないもの。
- 軽 症・・・傷病の程度が、入院加療を必要としないもの。
- その他・・・医師の診断がないもの、及びその他（医療機関以外）へ搬送したもの。

### 14 年齢別搬送人員

総搬送人員 4,108人



## 15 発生場所別搬送人員

事故種別 場所	急病		交通		一般負傷		その他		合計	
	人	構成比 (%)	人	構成比 (%)	人	構成比 (%)	人	構成比 (%)	人	構成比 (%)
住宅	2,083	50.71			395	9.62	8	0.19	2,486	60.52
公衆出入場所	524	12.76	5	0.12	103	2.51	451	10.98	1,083	26.36
仕事場	50	1.22			5	0.12	32	0.78	87	2.12
道路	65	1.58	170	4.14	98	2.39	4	0.10	337	8.20
その他	30	0.73	9	0.22	67	1.63	9	0.22	115	2.80
合計	67	66.99	184	4.48	668	16.26	504	12.27	4,108	

## 16 年齢・男女別搬送人員

年齢 性別	新生児		乳幼児		少年		成人		高齢者		合計	
	人	構成比 (%)	人	構成比 (%)	人	構成比 (%)	人	構成比 (%)	人	構成比 (%)	人	構成比 (%)
男	10	0.24	42	1.02	34	0.83	517	12.59	1,494	36.37	2,097	51.05
女	8	0.19	22	0.54	31	0.75	322	7.84	1,628	39.63	2,011	48.95
合計	18	0.44	64	1.56	65	1.58	839	20.42	3,122	76.00	4,108	

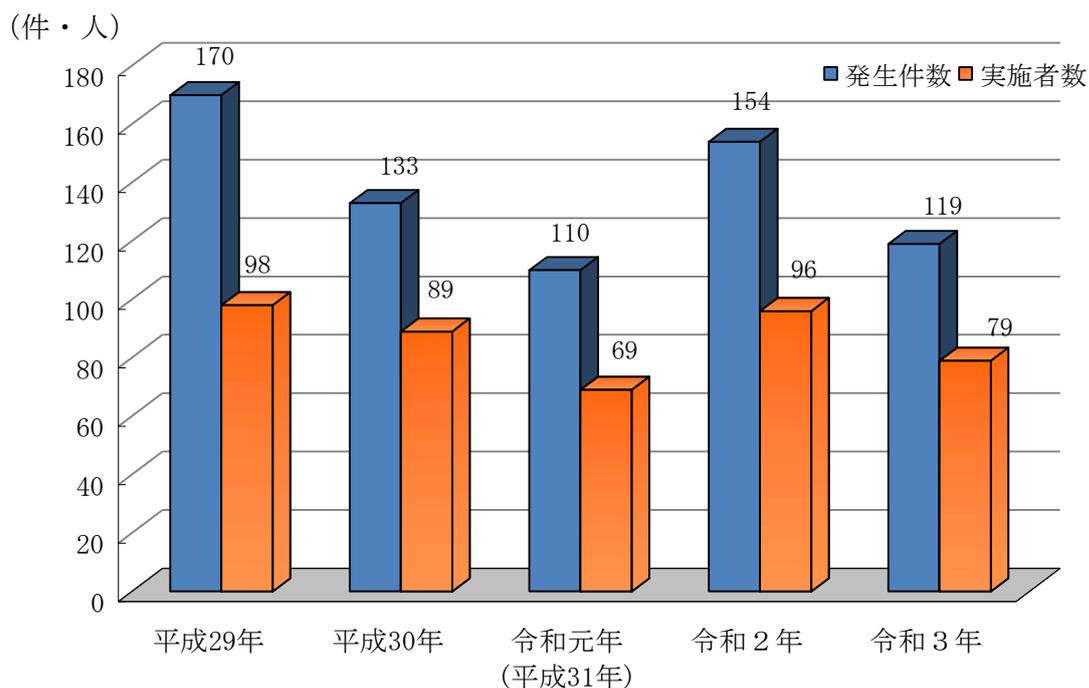
- ※ 新生児 …… 生後28日未満の者  
 乳幼児 …… 生後28日以上満7歳未満の者  
 少年 …… 満7歳以上満18歳未満の者  
 成人 …… 満18歳以上満65歳未満の者  
 高齢者 …… 満65歳以上の者

## 17 救急隊によるAED(電気ショック)実施数及び傷病者予後の推移

実施数 年別	心肺停止傷病者									
	AED実施							AED適応外		
	人	人	構成比 (%)	人	構成比 (%)	人	構成比 (%)	人	構成比 (%)	
平成29年	170	15	8.82	3	1.76	1	0.59	155	91.18	
平成30年	133	12	9.02	5	3.76	5	3.76	121	90.98	
令和元年 (平成31年)	110	10	9.09					100	90.91	
令和2年	154	7	4.55	2	1.30	1	0.65	147	95.45	
令和3年	119	6	5.04	3	2.52	1	0.84	113	94.96	

※ AED適応外とは、適応波形(心室細動・無脈性心室頻拍)が出現しなかったもの。

## 18 一般住民による応急手当の推移

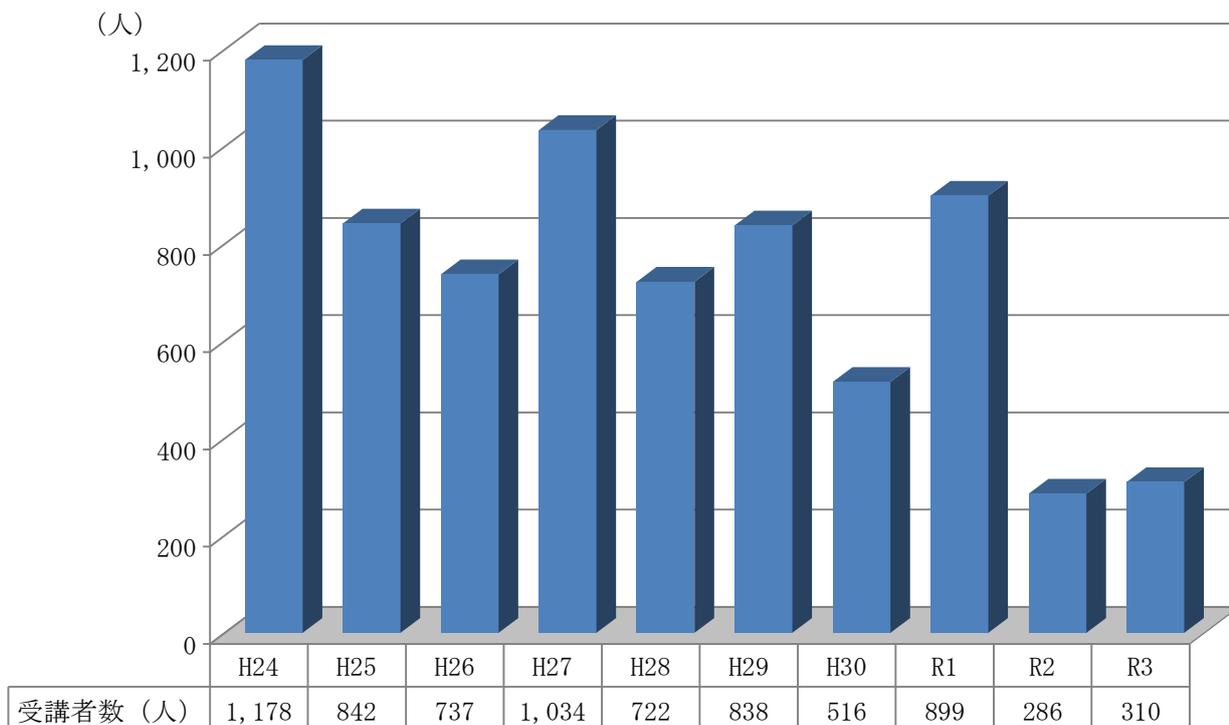


※ 救急隊が搬送した全ての心肺停止傷病者に対する割合

※ 左棒グラフ：心肺停止傷病者数 右棒：一般住民による応急手当実施件数

## 19 普通救命講習受講者の推移

※普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ及び普及員講習（再講習者も含む）



※ 普通救命講習とは、消防本部が発行する3時間以上の応急手当講習会

## 20 救急隊員が行った応急処置

処置項目		事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
対象人員			2,752	184	668	504	4,108
A	E D		3		2	1	6
救命処置	食道閉鎖式 エアウェイ		7		2		9
	気管挿管		3		2	1	6
	静脈路確保前 心停止		7			1	8
	静脈路確保後 心停止		13		2	1	16
	アドレナリン 投与		2		2	1	5
	ブドウ糖 投与		4				4
用手気道確保			139	1	17	15	172
経口エアウェイ			42		7	2	51
経鼻エアウェイ							
酸素吸入			723	16	53	153	945
心肺蘇生			94	1	11	8	114
止血			17	10	84	13	124
被覆			15	38	147	18	218
洗浄			7	12	40	6	65
保温			1,895	103	472	354	2,824
固定			15	115	126	28	284
聴診			1,269	118	238	120	1,745
血中酸素飽和度測定			2,652	182	654	489	3,977
血圧測定			2,634	182	648	472	3,936
心電図測定			2,144	51	240	281	2,716
吸引			42	1	13	7	63
検温			2,661	178	655	472	3,966
血糖測定			49		1		50
体位管理			2,740	181	660	494	4,075
異物除去			3		6		9
合計			17,180	1,189	4,082	2,937	25,388

※ 1人につき、複数の応急処置等を行うこともあるため、対象人員と事故種別ごとの処置項目の計は一致しないもの。

# 救助統計

## 1 令和3年中の救助概況

令和3年中の出動件数は53件（前年比－7件）、活動件数は30件（前年比－3件）、救助人員は36人（前年比±0人）となっている。

事故種別ごとの出動件数は火災（建物）3件、交通事故19件、水難事故3件、機械による事故1件、建物等による事故4件、その他の事故23件となっている。

市町別出動件数は宇和島市49件、松野町1件、鬼北町3件となっている。

## 2 事故種別救助出動件数・活動件数

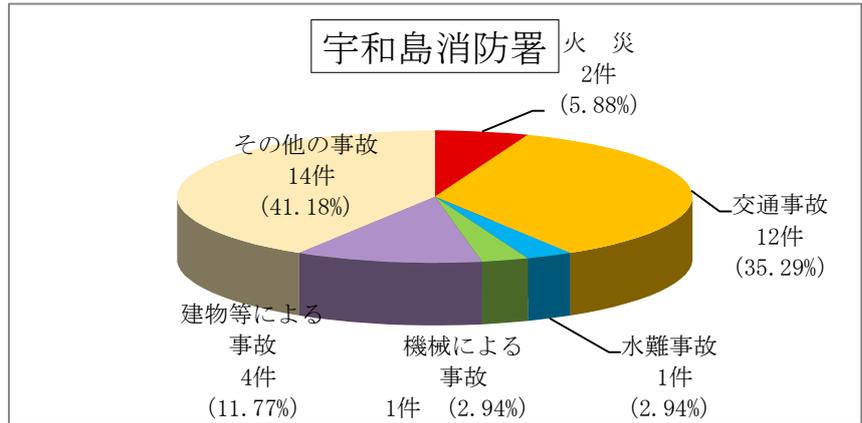
件数区分 事故種別		宇和島市		松野町		鬼北町		合計	
		出動件数	活動件数	出動件数	活動件数	出動件数	活動件数	出動件数	活動件数
火災	建物	3	3					3	3
	建物以外								
交通事故		16	5	1	1	2		19	6
水難事故		3	2					3	2
風水害等自然災害									
機械による事故		1	1					1	1
建物等による事故		4	4					4	4
ガス及び酸欠事故									
破裂事故									
その他の事故		22	13			1	1	23	14
合計		49	28	1	1	3	1	53	30

### 3 事故種別救助人員・搬送人員

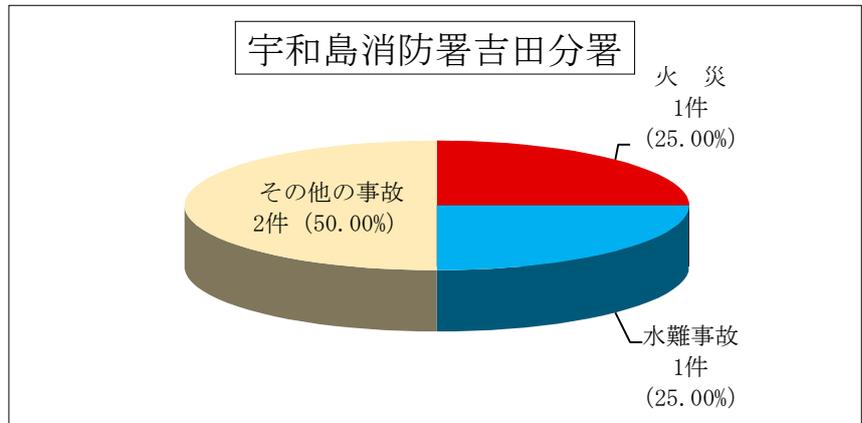
件数区分 事故種別		宇和島市				松野町				鬼北町				合計			
		救助人員	搬送車両			救助人員	搬送車両			救助人員	搬送車両			救助人員	搬送車両		
			救急自動車	その他	計		救急自動車	その他	計		救急自動車	その他	計		救急自動車	その他	計
火災	建物	9												9			
	建物以外																
交通事故		5	5		5	1	1		1					6	6		6
水難事故		2	1		1									2	1		1
風水害等自然災害																	
機械による事故		1												1			
建物等による事故		4	1		1									4	1		1
ガス及び酸欠事故																	
破裂事故																	
その他の事故		13	11	1	12					1	1		1	14	12	1	13
合計		34	18	1	19	1	1		1	1	1		1	36	20	1	21

## 4 所属別救助出動件数

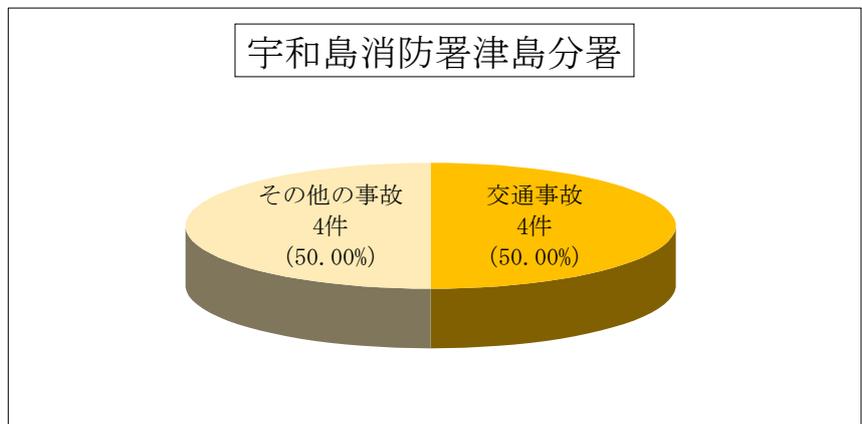
宇和島消防署	
火 災	2
交通事故	12
水難事故	1
風水害等自然災害	
機械による事故	1
建物等による事故	4
ガス及び酸欠事故	
破裂事故	
その他の事故	14
合 計	34



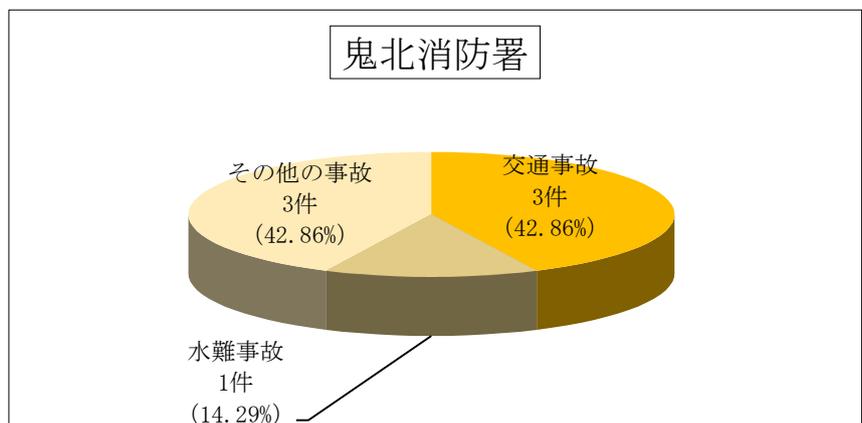
宇和島消防署 吉田分署	
火 災	1
交通事故	
水難事故	1
風水害等自然災害	
機械による事故	
建物等による事故	
ガス及び酸欠事故	
破裂事故	
その他の事故	2
合 計	4



宇和島消防署 津島分署	
火 災	
交通事故	4
水難事故	
風水害等自然災害	
機械による事故	
建物等による事故	
ガス及び酸欠事故	
破裂事故	
その他の事故	4
合 計	8

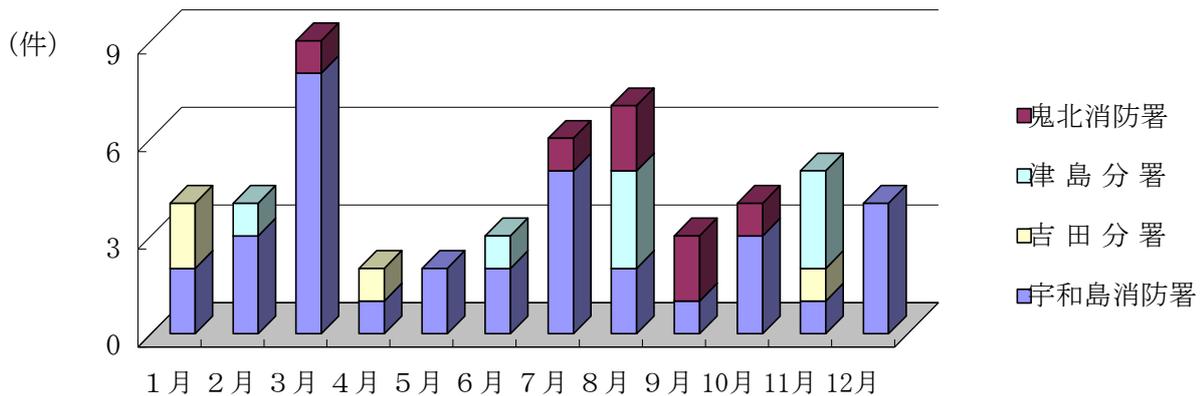


鬼北消防署	
火 災	
交通事故	3
水難事故	1
風水害等自然災害	
機械による事故	
建物等による事故	
ガス及び酸欠事故	
破裂事故	
その他の事故	3
合 計	7



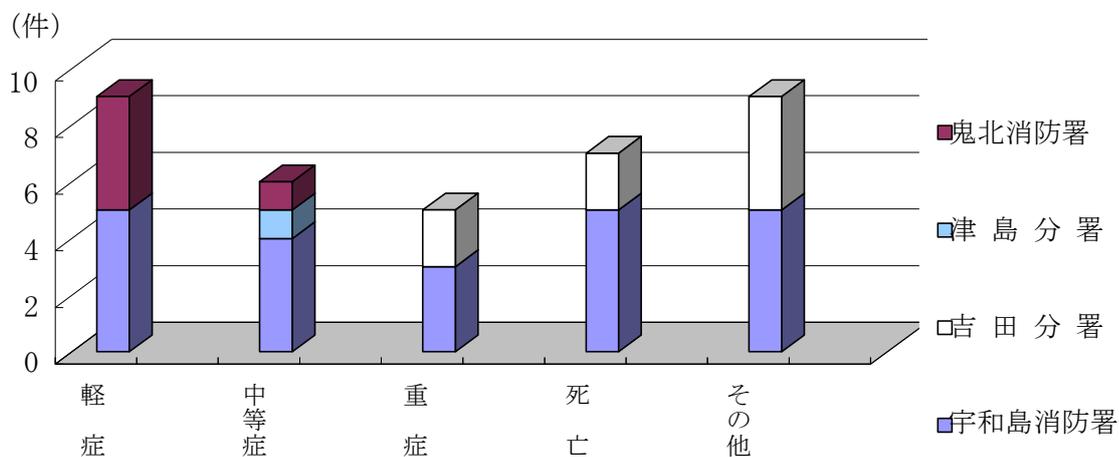
## 5 月別出動件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
宇和島消防署	2	3	8	1	2	2	5	2	1	3	1	4	34
吉田分署	2			1							1		4
津島分署		1				1		3			3		8
鬼北消防署			1				1	2	2	1			7
合計	4	4	9	2	2	3	6	7	3	4	5	4	53



## 6 傷病程度別救助人員

	軽症	中等症	重症	死亡	その他	合計
宇和島消防署	5	4	3	5	5	22
吉田分署			2	2	4	8
津島分署		1				1
鬼北消防署	4	1				5
合計	9	6	5	7	9	36



## 7 過去10年間の救助出動件数等の推移

